

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)座間市東原4丁目計画 新築工事	階数	地上9F
建設地	座間市東原四丁目5589-2	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	312人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年11月 予定	評価の実施日	2015年6月22日
敷地面積	3,268㎡	作成者	(株)長谷工コーポレーション
建築面積	1,006㎡	確認日	2015年6月25日
延床面積	6,720㎡	確認者	(株)長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合 道路沿いの部分に緑化空間を持つ事により、地域緑化へ貢献できる建物を目指す。周辺環境に配慮した建物配置、外観デザインとし、景観創出に努めた。		その他 0
Q1 室内環境 ・断熱等性能等級3相当。 ・住戸には庇(バルコニー)及びカーテンレールを設置。 ・F V O Cの放出が極めて少ない部材を採用。	Q2 サービス性能 ・共用部維持管理対策等級2、劣化対策等級3取得予定。	Q3 室外環境(敷地内) ・座間市の景観計画に適合した彩色とした。
LR1 エネルギー ・潜熱回収型給湯器を採用しエネルギーの有効利用を図るとともに、断熱等性能等級3相当を確保することで建物の熱負荷の抑制に努める。	LR2 資源・マテリアル ・環境負荷の抑制を促進し、地球環境負荷の低減を図る。	LR3 敷地外環境 ・ライフサイクルCO ₂ 削減に配慮する。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される